



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



もちづき のりお
望月 則男 議員
(富岳会)

公共料金のキャッシュレス決済について

問 感染症対策の観点からも、市立病院のクレジットカード決済以外にキャッシュレス決済を導入できないか伺う。

部長 世の中の流れがキャッシュレスの方向に動くことは、もう止められないと思うし、止める必要もないと思う。一番の行政としての問題は、口座振替という手数料が安価なものが、キャッシュレス決済になる事で、より多くの税金を使い各民間事業者へ手数料を支払う形となること。その流れは止まらないとは思いますが、果たして、公金の使い方として良いのかどうか、市民サービスの向上と抱き合わせて検討せざるを得ないと思う。

富士宮市指定のごみ袋について

問 市指定ごみの袋価格決定方法について伺う。

部長 ごみ袋の指定に関する要領に基づいて民間事業者が製造する承認制度となっており、値段は承認を受けた事業者が決定している。

問 収集カレンダーに指定のごみ袋を使ってくださいという一文があるが、実態は透明の袋は収集し、色のついた袋は収集しないということで、透明の袋で収集してくれるのであれば、透明の袋が良いのではないかと。特に値段設定する主体が市にないので、市民サービスを考えた場合、透明のごみ袋が一番安く、指定のごみ袋を使うのであれば、その明確な基準があるのか伺う。

部長 集積所が混乱するため、極力集められるもの、中身が確認できるものについては収集しているのが現状。市のごみであることを識別するためということと、富士市は可燃ごみと資源ごみを分けているが、富士宮市もいずれはそうしていく可能性もあるため、市民に対して決められたごみ袋に分別して入れるという意識を浸透させるという面もある。



つじむら たける
辻村 岳瑠 議員
(政経会)

新型コロナウイルス感染症第2波への備えについて①介護保険事業

問 通所系サービスに休業要請が出たときの代替サービス検討について伺う。

部長 介護保険事業者連絡協議会役員と、事業所や市でできることを協議している。

問 施設オンライン面会を後押しする施策は。

部長 県の補助金（地域医療介護総合確保基金）に業務改善のためのタブレット端末等購入費用の一部を助成するものがある。利用周知を啓発。

新型コロナウイルス感染症第2波への備えについて②自粛生活

問 クラウドファンディング^{※1}を活用した社会的役割創出の取組の必要性について。富士宮やきそばで官民連携を図ることについて。

部長 クラウドファンディングの目的と行政目的

が一致する事業であれば、資金調達の仕組みで市民の生活不安を解消すべく研究したい。

問 休校中の課題から得た成果について。

教育長 各家庭の協力により、教科書を活用した予習的な学習を行ったことが挙げられる。

コロナが与えた社会的影響を、良い方向に仕向ける施策、反転攻勢の意識について考える

問 移住定住ポータルサイトをコロナ禍ならではのものに変更する考えはあるか。

部長 ポータルサイト内にオンライン移住相談窓口を掲載していく。レポート型交流資源の磨き上げによる富士宮Life実現事業も推進。

問 コロナ禍のマイクロツーリズム^{※2}市場を狙った時の富士宮観光の魅力は何か。

部長 市の自然を満喫するE-BIKE事業を推進。

問 キャンプ、アウトドアの付加価値は川遊び、マス釣りを提案するがいかがか。

部長 当市はニジマス生産量日本一。そういった意味でも、安全に遊ぶことを検証しながら川遊びやマス釣りを推奨すべきと思う。

※1…クラウドファンディングとは、インターネットを通じて不特定多数の人に事業の趣旨とその資金提供を呼び掛け、賛同者から資金を集めること。

※2…マイクロツーリズムとは、3密を回避し自宅の近場で観光し地元の魅力を再発見する旅行のこと。